

令和2年第15回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和2年9月16日(水)

2. 場 所 浅口市中央公民館第1会議室

3. 開 会 午後1時30分

4. 閉 会 午後2時45分

5. 出席者 中野留美 佐藤賢次 藤澤弘幸 高戸崇 吉田英子

6. 説明のために出席した者の氏名

教育次長	小山朋子	教育総務課長	藤澤智広
学校教育課長	小野力矢	こども未来課長	笠原清美
文化振興課長	安原直子	生涯学習課長	瀬良昌弘
金光分室長	中嶋利恵	寄島分室長	田中太志
学校給食センター所長	山本峯廣		
教育総務課	山崎友紀(事務局)		

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会議規則第29条により藤澤委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日9月16日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第53号 浅口市英語検定等取得報奨金交付要綱の制定について
(学校教育課長)
資料により説明。
市内在住の小・中学生の英語力及び学習意欲の向上を図るこ

とを目的として、実用英語技能検定等において一定以上の等級を取得した場合に報奨金を交付することとし、要綱を定める。英検のほかに TOEIC、TOEFL、GTEC も、スコアに応じて英検等級と同等の能力と認める。同一等級における報奨金の交付は1度限りとし、報奨金の額は等級に関わらず1万円とする。

(教育委員)

等級に関わらず1万円ということだが、傾斜をつけ金額に差をつけてもよいのかなと思った。

(教育次長)

中学生で準2級取得を想定して設定しているので、等級に関わらず一律にしている。浅口市はスポーツに関しては激励金があることから、英語教育について力を入れていることもあり、たちまち英語について実施することとした。

(教育委員)

同一等級における報奨金の交付は1度限りとあるが、2回受かる可能性があるのか。

(教育長)

TOEIC等は点数制なので、2回受験し2回とも同一等級となった場合などを想定している。

(教育委員)

仮に飛び級で合格したとしても、報奨金額は1等級分か。

(学校教育課長)

1等級分。

(教育次長)

英検準1級の資格を持つ浅口市在住の川上君の例もあり、頑張っている子どもにあげたいと考えている。

(教育委員)

遑って申請することは可能か。

(学校教育課長)

申請の期間は、英検に合格した日又は当該能力を有すると認められるに至った日から起算して1年以内としているため、例えば今年度合格した子は可能である。

(教育委員)

現状、準2級以上の子どもは何人いるか。

(教育次長)

詳細は分からないが、去年は5～6人だった。私立に行っている子どもの取得数は不明であるため今年度予算上は10人分確保している。

(教育委員)

学習意欲の向上ということで周知していただきたい。今回は英検ということだが、将来的に数検、漢検はどうか。

(教育次長)

とりあえず英検から。

(教育委員)

どのように広報する予定か。市内の公立学校へは学校を通じて周知できると思うが、私立等へ通っている子どもはどうする予定か。

(教育次長)

近隣の学校へは周知文を配布することもできるかもしれない。

(教育長)

激励金と同じように広報しようと思う。研究したい。

(教育委員)

他の自治体でも、報償費を出しているのか。

(教育次長)

調べた限りでは、ないと思われる。

(教育委員)

検定料の補助をするというのは聞いたことがある。

(教育次長)

それも検討はしたが、こちらの方が良いと判断した。

(教育委員)

1万円は現金か。現金と明記しては。

(教育次長)

激励金も現金だが、こういった表現をしているので、それに合わせた。

(教育委員)

広報の仕方を工夫してもらいたい。情報の格差がないように。取組自体は良いと思う。

(教育長)

公平性が欠けないように配慮したい。

(承認)

日程 4 議案第 54 号 浅口市保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の一部を改正する告示について

(こども未来課長)

資料により説明。

保育園、認定こども園に入所の際、申込者が定員を上回った場合は利用調整を行い、調整基準に基づき保育の必要性が高い園児から利用決定を行っている。昨年 10 月から 3 歳以上の教育・保育が無償化されたこともあり、低年齢からの申込者が増え、毎月多くの利用保留者が出てきており、毎月利用調整を行っている。11 月から来年度の保育園等の利用申し込みを開始するため、利用調整の内容の一部を変更し、保育の必要性について点数の調整を行いたいと思う。

(教育長)

別表第 1 「基本点数」中の改正について何かあるか。

(教育委員)

聴覚障害者「1～3 級所持」から「2～3 級所持」へ改正されているがなぜか。

(こども未来課長)

聴覚障害のみの場合、最も重度のものでも障害者程度等級は 2 級までで 1 級の記載がない為、そのように改正を行っている。

(教育委員)

複数の状況に当てはまる場合、点数は合算されるのか。

(こども未来課長)

複数の状況に該当する場合は、各々について基本点数の高い方の状況を採用して計算する。

(教育長)

別表第 2 「調整点数」中の改正について何かあるか。

(教育委員)

ひとり親世帯の区分で「ただし、事実婚の場合は除く。」と付け加えられているが、どのように事実婚の確認を行うのか。

(こども未来課長)

本人へ聞き取りを行う。また児童扶養手当の受給状況の確認等も行う。

(教育委員)

「未納の保育料が3箇月以上あり」とあるが、保育料を徴収する場合があるのか。

(こども未来課長)

3歳以上は無償となったが、2歳以下は保育料を徴収している。未納者の中には子どもが卒園した家庭もあるが、納付相談をしながら徴収していく。

(承認)

日程5 諸般の報告について

(教育次長)

9月市議会一般質問・補正予算内容教育委員会関係分について。

一般質問について、4人の議員から質問があった。

まず香取市議から、岡山天文博物館の受付や売店業務を一般社団法人moko' aに委託しているが、なぜ一社のみで随意契約を行っているのかと質問があった。博物館をリニューアルした際に、地域の活性化等を目的とする地方創成交付金を使っており、観光や地域振興を念頭に業者選定したところ、条件に合う指名願い提出業者はmoko' aしかいなかった。ただ、今後は一般公募も視野に入れていきたいと回答した。

次に、沖原市議から、3密対策における少人数学級についてどう考えているかと質問があった。教員の確保と教室の確保に課題があると考えていること、新型コロナウイルス感染者数が増えた場合は分散登校やオンライン授業を活用し、少人数指導ができるように準備・研究していくことを回答した。山下市議から、GIGAスクール構想に基づく教育環境の整備について質問があった。GIGAスクール構想の整備状況については現在端末及びWi-Fiの整備等の業者選定が終わり仮契約を結んでいることを回答した。今後契約については議会の承認をもって本契約という段階になる。電子黒板の購入については小1～小3までは現在仮契約の段階だが、小4～中3については既に設置をしており2学期からの活用を予定している。タブレットはChromebookを採用しオンライン授業やオンラインでの課題の配布といったことも視野に準備を進めていることを回答した。

伊澤市議からは、鴨方東幼稚園と鴨方西幼稚園の3歳児保育

についてどう考えているか質問があった。現在幼稚園児数については減少しているが、金光幼稚園の3歳児保育を開始したばかりであり、現時点では3歳児保育の受け皿は足りていると考え、今後の動向や保護者のニーズを見極める時期と考えていると回答した。

議案として、住吉氏からの寄附を住吉満教育基金条例として上程し原案可決された。2,000万円を超える物品の購入については議会の承認を得る必要があるため、議案として上程したが、継続審議となった。明日臨時議会が開催される予定であり、その中で審議される。また10月の教育委員会議にて報告する。

補正予算として、ALTの代替え費用、これは通常であれば今年度ALTが2人退職し、その後2名新規採用する予定であったが、新型コロナウイルスにより来日することが難しくなったため、ALTの代替えの方を民間により確保する代替え費用539万円、新型コロナウイルス感染症の対応をしてくださった放課後児童クラブ支援員へ慰労金300万円、オンライン用の子ども達へ配るヘッドセット336万円、経済的に困難な家庭へモバイルルーターを貸し出すが、その際の通信費270万円、新型コロナウイルス感染症対策として市立図書館3館へ本の除菌機3台購入費396万円、住吉氏の教育基金を活用し学校地域連携コーディネーター委託料88万円・寄島小学校改修設計委託387万・寄島三ツ山の地質調査5万円、併せて約480万円を基金から使わせていただく予定としている

寄附として、株式会社スズキ麺工から10万円、発明工夫の基金へ積立させていただく。一般市民の親子3人の方から25万、大簡塾のWi-Fi整備や備品購入費に使わせていただく。阿藤伯海記念公園の阿藤先生の甥にあたる田中先生の教え子の会が解散されたことに伴いその会のお金11万5千円を植樹費として寄附いただいた。そして住吉氏から1億円。合計4件の寄附をいただいた。

(教育委員)

モバイルルーターは貸し出ししか。貸し出しの場合件数は。

(教育次長)

貸し出しを想定している。予算時の件数は200世帯を想定し、対象世帯は準要保護の世帯を想定しているが、中には持って

いる方もいらっしゃると思うので、今後調査を行い具体的な数値を出していく。

(教育総務課長)

第2回総合教育会議の開催について

第2回総合教育会議を10月14日(水)に開催させていただく。13時30分から教育委員会議を開催し、15時30分から総合教育会議を開催させていただく。

(学校教育課長)

浅口市小・中学校一貫教育基本計画の修正について

9月29日に小・中学校一貫推進委員会を開催し、その中で浅口市小・中学校一貫教育基本計画の修正案を審議する予定であるが、その前にご確認いただきたい。字体が変わっている部分が今回修正した部分。またGIGAスクール構想に基づいた内容を、今後のスケジュールの中に付け加えている。

県幹部との学校訪問について

各学校のアクションプランを配布させていただいているので、確認していただきたい。また、学校訪問の日時と参加者について案内する。また集合時間など詳細は改めて通知する。

コミュニティ・スクールの取組みの紹介について

お配りしている写真は、鴨方中学校の生徒がそれぞれの母校の小学校に出向き、挨拶運動をしているもの。これ以外にも中学校区ごとで特色ある取組みをしている。

(教育委員)

この写真に写っているが、マスクをして登校している小学生も見受けられる。マスクはいつも着けなければならないという訳ではなく、必要な時に着ければよいということを子どもに伝えていってほしい。

(こども未来課長)

園訪問について

11月に幼稚園訪問を予定している。ご都合のよい日を確認させていただきたい。

(生涯学習課長)

スポーツ推進計画について

9月3日にスポーツ推進審議会会長へ諮問書を手渡した。現在アンケートを実施中で、1,000件中399件回答があった。率としては34%で、前回アンケート行った際の返却率は36.6%であった。今月末までが回収期限である。

市立図書館フリーWi-Fi設置について

浅口市立図書館3館へ、フリーWi-Fiを設置し、10月から利用できるように整備を進めている。

(教育委員)

よく鴨方図書館を利用するが、入館時名前等を記入するようになっている。浅口市では新型コロナウイルス感染症が落ち着いている今、そこまでする必要があるだろうか。

(生涯学習課長)

市の方針である。感染状況も波があると想定し、追跡調査できるようにしておく必要がある。国内で発生者がいなくなった訳ではないので、もう少しこの対応でお願いしたい。

(教育次長)

新型コロナウイルス感染症の対策の方針については、市の対策会議で決定している。またガイドラインに沿って行っていることなので、ご協力いただきたい。

(教育委員)

警戒レベルに応じて、段階的な対応をとってもよいのでは。

(教育次長)

新しい生活様式として、人の出入りを記録しておくというのがベースにある。感染者接触アプリの普及など、別の形で把握できるようになれば対応も変わるかもしれないが。

(教育委員)

利用者としては、1時間の滞在時間制限についても不自由を感じる。隣の町はそのような制限はないので。

(教育次長)

時間制限については、今後緩和できるかもしれない。

(教育長)

市の対策会議があるので、その中で協議していきたい。

日程 6 その他について

(教育長)

今日の園訪問について意見を聞きたい。

園訪問の中で話だが、参観日は密を避ける配慮を行うにもかかわらず、その後に開催される人権研修会はグループワークをすることになっているとの話があった。研修会の内容とやり方についてもう一度改めて研究したい。

他の委員さんは今日の園訪問についてどうであったか。

(教育委員)

新型コロナウイルス感染症対策が気になっていたが、よく対策をされていた。1学期にできなかったことも、だいぶ遅れを取り戻しつつあると感じた。

(教育委員)

幼稚園で運動会の練習が行われていたが、手を繋ぐ替わりの方法を工夫していてよかったと思う。マスクについては3歳以上の子どもについては着けている園と着けていない園とまちまちであった。園長判断だと思うが、WHOの報告を参考にしつつ判断してもらいたい。検温もしっかり行われていてよかったと思う。

(教育委員)

3つのテーマを設定して行ったが、感染対策について3園それぞれよくやっている印象を受けた。1学期はできなかった行事があると思うが、あと半年子ども達のために色々な形で実現していただけるよう期待している。

次回教育委員会議

令和2年10月14日(水)13時30分から

令和 2 年 10 月 14 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中 野 留 美

委 員 藤 澤 弘 幸

作 成 職 員 山 崎 友 紀